

日本学術会議 科学者委員会 学術の大型研究計画検討分科会（第17回）  
議事要旨

日時 2013年4月22日（月）17:30-20:00  
場所 日本学術会議 5-A（2）会議室（5階）  
出席者 荒川委員長、松沢副委員長、長野幹事、西尾幹事、大隅委員（スカイプ参加）、田中委員、樋口委員  
陪席 日本学術会議事務局（辻上席学術調査員、守屋事務官 他）

配布資料

- (1) 資料1 前回議事要旨（案）
- (2) 参考1 科学者委員会 学術の大型研究計画検討分科会（委員名簿）

議題

※審査・評価に関する審議については非公開とすることが荒川委員長より提案され、了承された。

1) 前回議事要旨（案）の確認

前回議事要旨の確認を行い、原案通りに了承された。

2) 経過報告

本分科会が前回開催された4月2日以降の経過報告が荒川委員長よりなされた。

- ・重複申請などを調整した公募結果が報告された。
- ・申請された大型研究計画における「学術研究領域」について、副領域を記載した計画件数は想定していたより少数であった。

3) 学術大型研究計画審査・評価プロセスについて

学術大型研究計画策定における審査・評価プロセスの審議を行った。本日の議論を踏まえ、会議終了後、速やかに各分野（部）の評価分科会（3月22日幹事会了承）の委員宛に評価依頼を行うこととなった。

4) 評価用紙について

評価分科会委員が事務局に提出する評価用紙について審議した。

5) 重点大型研究計画審査・評価プロセスについて

重点大型研究計画における審査・評価プロセスについて、荒川委員長より素案が示された。本日は時間的な制約もあり、本件に関する議論は5月10日開催予定の次回の本分科会で継続審議することとした。

6) 副領域の審査・評価プロセスについて

副領域での審査・評価の依頼、さらに、副領域からの評価結果の扱いについて審議を行った。

7) 今後の活動について

次回の本分科会を5月10日に開催することとし、その分科会の審議終了後に、各分野（部）の評価分科会委員長への今後の審査・評価プロセスに関する説明会を開催することとした。

以上